

第28回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

---

# 新型コロナウイルス情勢下の 交通状況分析

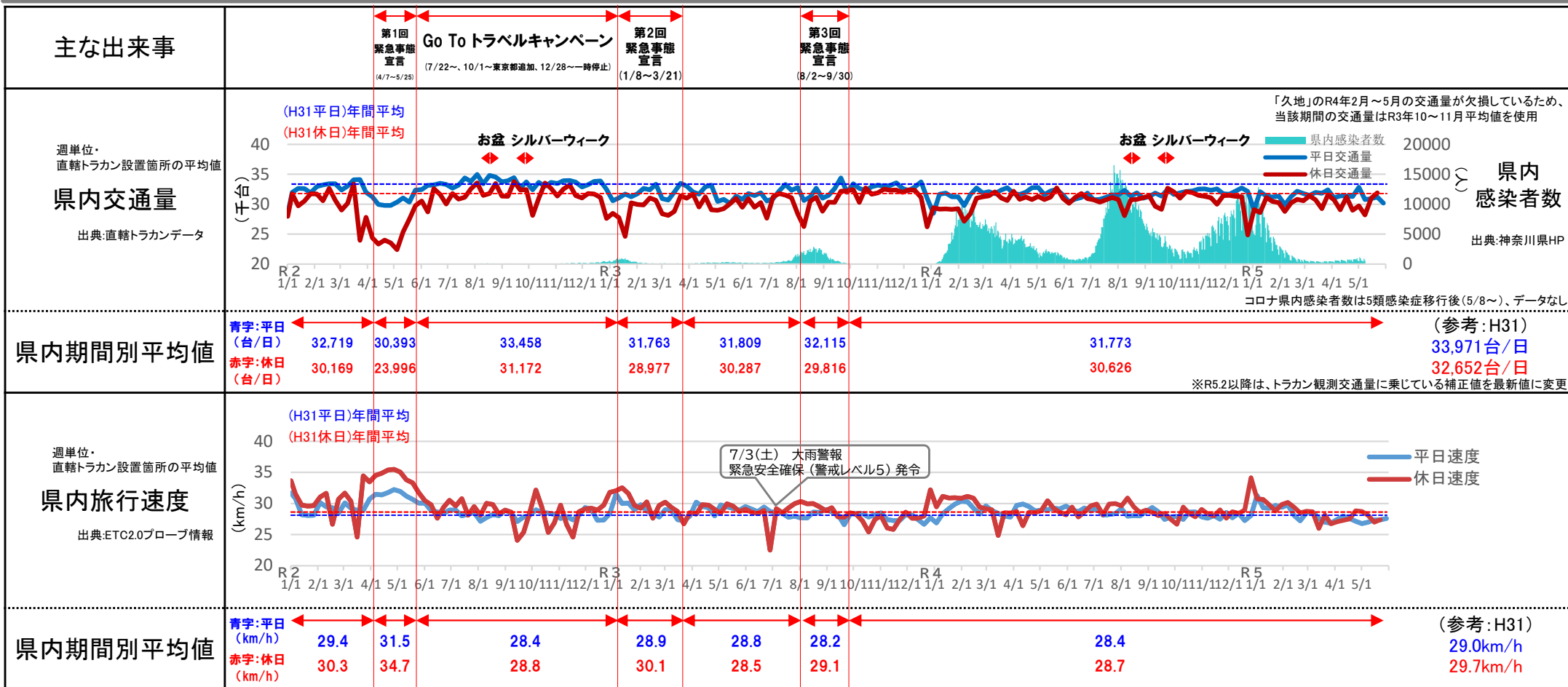
---

令和5年8月24日

# 4 新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析

## 4-1 神奈川県内の交通情勢の変化(継続的な分析)

- 新型コロナウイルス情勢下における交通状況に大きな変化がないかを把握するため、県内の交通量・旅行速度を継続して確認した。
- R2年の第1回緊急事態宣言下では、ゴールデンウィーク期間などの休日を中心に交通量が減少し、旅行速度が向上。以降、交通量・旅行速度は徐々に回復し、宣言前と近い水準に変化している。
- R3年以降の特徴として、緊急事態宣言下や感染者数の増加が著しい期間では交通量が減少する傾向がみられ、特に休日の交通量減少が顕著である。
- その他、全体を通じた傾向として、年末年始では交通量の減少・旅行速度の向上がみられる。



# 4 新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析

## 4-2 神奈川県内の交通情勢の変化(トリップ長分析(通勤・物流))

- 緊急事態宣言発令前後の通勤時の交通特性を把握するため、県内4箇所の交通量・トリップ長を分析した。
- 東京都に近い国道15号宮前町の交通量は、緊急事態宣言期間中(以下、宣言中)に小型車が減少、その後回復傾向にあったが、直近では小型車は約21%減、大型車は約10%減と、交通量が減少傾向。
- 通勤に関するトリップ長は、宣言中以降に5km以下の割合が減少傾向であり、中長距離トリップの自家用車への移動手段転換が継続していることが考えられる。物流に関するトリップ長はコロナ前より若干減少傾向。

### 国道15号 宮前町

#### 交通量の推移

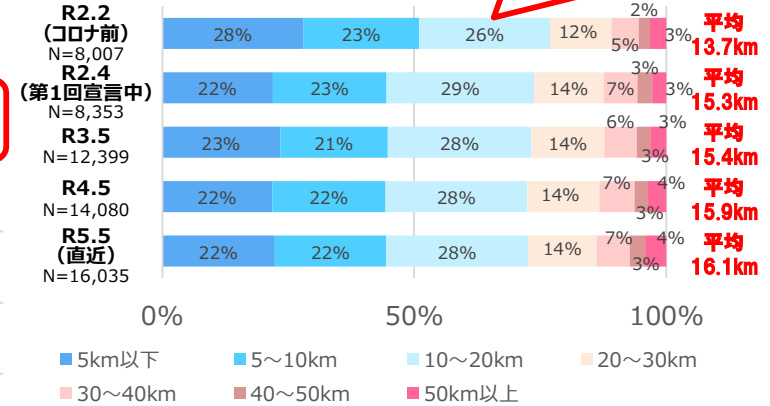


小型車: コロナ前から約13%減  
大型車: コロナ前と大きく変化なし

小型車: コロナ前から約21%減  
大型車: コロナ前から約10%減

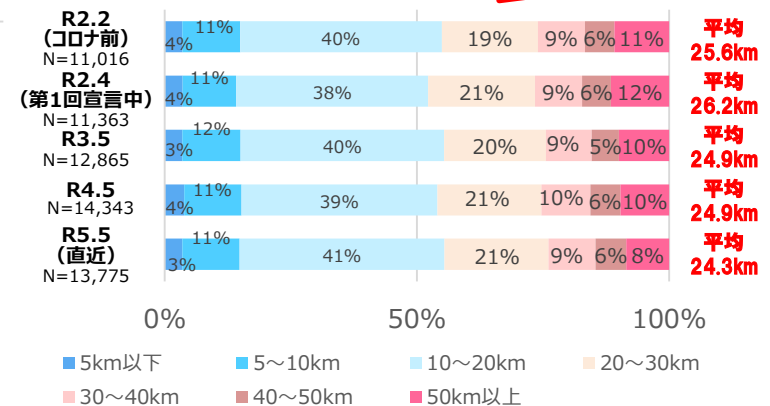
※直近R5.5では、トラカ観測交通量に乗じている補正値を最新値に変更

#### トリップ長: 通勤



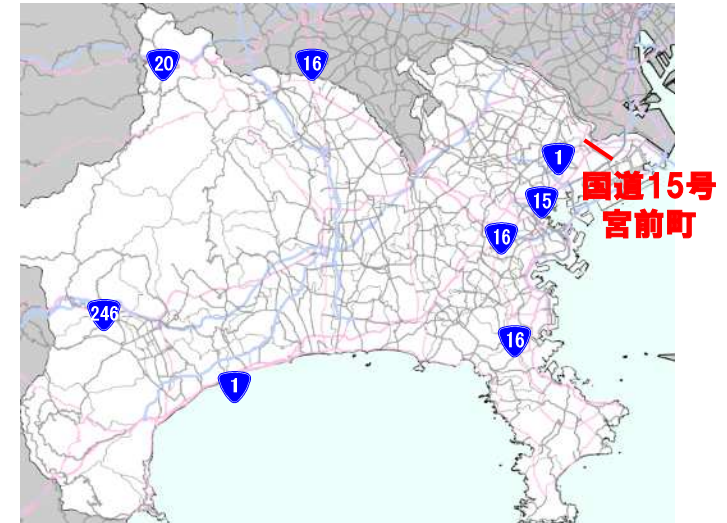
宣言中以降、5km以下の割合が減少傾向

#### トリップ長: 物流



コロナ前と大きな変化はない

#### (参考)分析断面



国道15号 宮前町

出典: ETC2.0プローブデータ

<通勤> 車種: 普通・小型、用途: 乗用を対象  
<物流> 車種: 普通、用途: 貨物を対象  
直轄トラカデータ※車種が判別不能の車両は対象外

分析時期

R2.2 (コロナ前): R2.2.4~8  
R2.4 (第1回緊急事態宣言期間中): R2.4.13~17  
R3.5: R3.5.24~5.28  
R4.5: R4.5.23~5.27  
R5.5 (直近): R5.5.22~5.26

# 4 新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析

## 4-2 神奈川県内の交通情勢の変化(トリップ長分析(通勤・物流))

○東京都に近い国道246号久地の交通量は、宣言中に小型車が減少したが、その後は回復傾向であるものの、直近のR5.5では小型車はコロナ前から約6%減、大型車は約13%減と、コロナ前の水準には至っていない。

○通勤に関するトリップ長は、宣言中以降に10km以下の割合が減少傾向であり、中長距離トリップの自家用車への移動手段転換が継続していることが考えられる。物流に関するトリップ長はコロナ前と大きな変化はない。

### 国道246号 久地

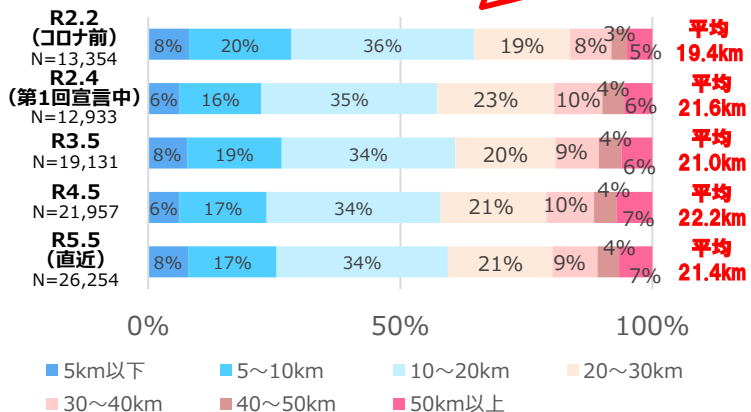
#### 交通量の推移



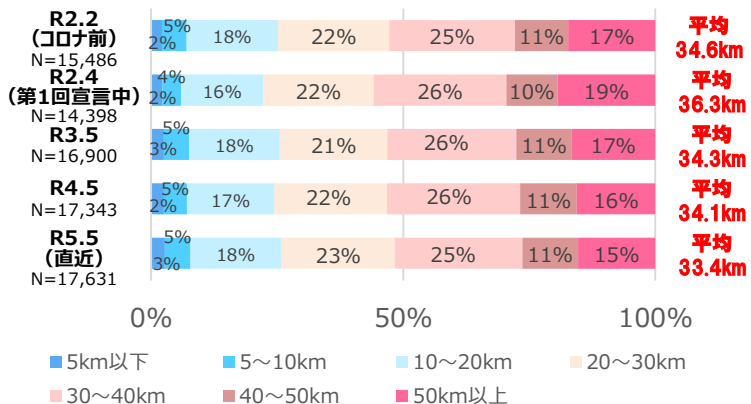
小型車: コロナ前から約6%減  
大型車: コロナ前から約13%減

※直近R5.5では、トラカン観測交通量に乗じている補正値を最新値に変更

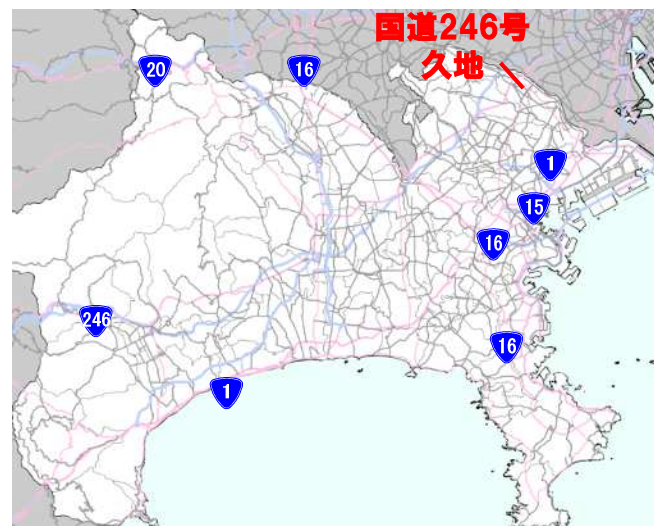
#### トリップ長: 通勤



#### トリップ長: 物流



#### (参考)分析断面



出典: ETC2.0プローブデータ

<通勤>車種: 普通・小型、用途: 乗用を対象

<物流>車種: 普通、用途: 貨物を対象

直轄トラカンデータ※車種が判別不能の車両は対象外

分析時期

R2.2 (コロナ前): R2.2.4~8

R2.4 (第1回緊急事態宣言期間中): R2.4.13~17

R3.5: R3.5.24~5.28

R4.11: R4.11.24~11.30(平日のみ)

※直轄トラカンデータのみ(データ欠損のない時期を使用)

R5.5(直近): R5.5.22~5.26

# 4 新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析

## 4-2 神奈川県内の交通情勢の変化(トリップ長分析(通勤・物流))

- 神奈川県中部における国道1号戸塚の交通量は、宣言中に小型車が減少したが、その後回復傾向にあり、直近ではコロナ前と同等以上まで回復。
- 通勤に関するトリップ長は、宣言中以降に20km以下の割合が減少傾向であり、中長距離トリップの自家用車への移動手段転換が継続していることが考えられる。物流に関するトリップ長はコロナ前よりも長距離の割合が減少傾向。

### 国道1号 戸塚

#### 交通量の推移

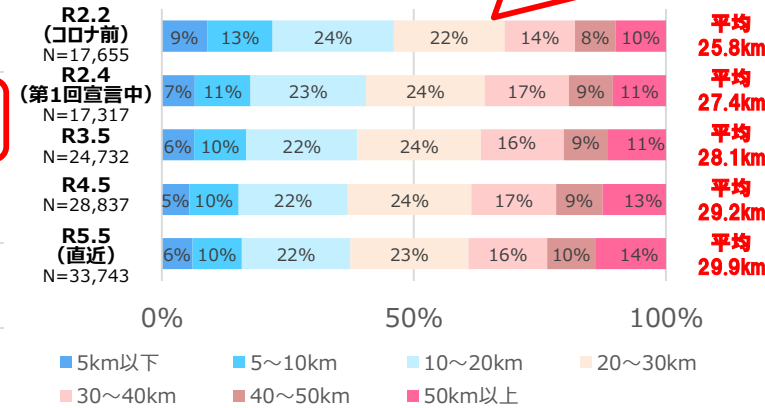


小型車: コロナ前から約14%減  
大型車: コロナ前と大きく変化なし

小型車: コロナ前から約2%増  
大型車: コロナ前から約4%増

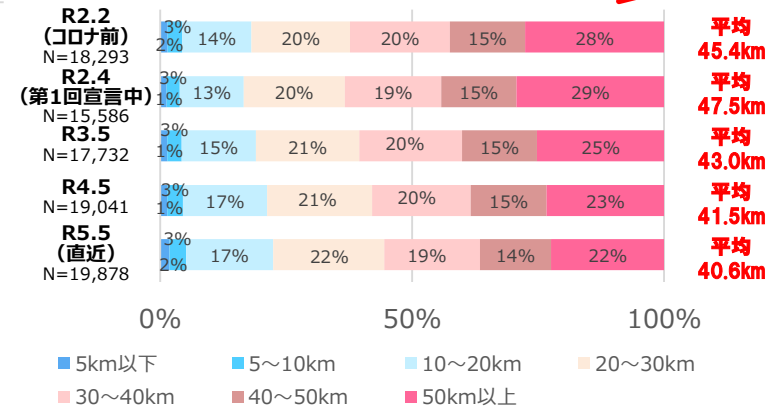
※直近R5.5では、トラカ観測交通量に乗じている補正値を最新値に変更

#### トリップ長: 通勤



宣言中以降、20km以下の割合が減少傾向

#### トリップ長: 物流



長距離トリップの割合が減少傾向

### (参考)分析断面



出典: ETC2.0プローブデータ

- <通勤> 車種: 普通・小型、用途: 乗用を対象
- <物流> 車種: 普通、用途: 貨物を対象
- 直轄トラカデータ※車種が判別不能の車両は対象外

分析時期

- R2.2 (コロナ前): R2.2.4~8
- R2.4 (第1回緊急事態宣言期間中): R2.4.13~17
- R3.5: R3.5.24~5.28
- R4.5: R4.5.23~5.27
- R5.5 (直近): R5.5.22~5.26

# 4 新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析

## 4-2 神奈川県内の交通情勢の変化(トリップ長分析(通勤・物流))

○神奈川県中部における国道246号船子の交通量は、宣言中に小型車が減少したが、その後回復傾向にあり、直近ではコロナ前と同等まで回復。

○通勤に関するトリップ長は、宣言中以降に5km以下の割合が減少傾向であり、中長距離トリップの自家用車への移動手段転換が継続していることが考えられる。物流に関するトリップ長はコロナ前と大きな変化はない。

### 国道246号 船子 交通量の推移



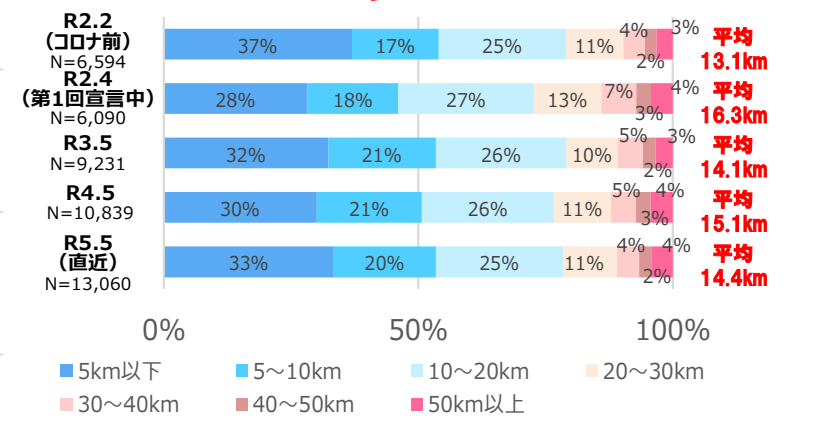
小型車: コロナ前から約15%減  
大型車: コロナ前から約10%増

小型車: コロナ前と大きく変化なし  
大型車: コロナ前から約7%減

※直近R5.5では、トラカン観測交通量に乗じている補正値を最新値に変更

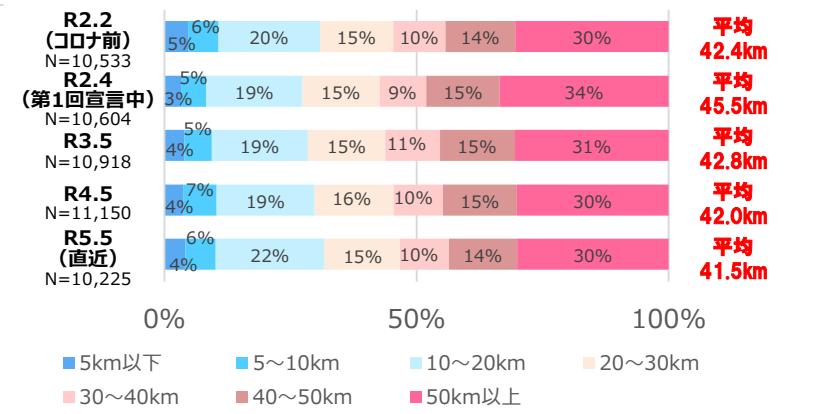
### トリップ長: 通勤

宣言中に5km以下の短距離が大きく減少し、直近でもコロナ前と比べると減少。



コロナ前と大きな変化はない

### トリップ長: 物流



### (参考)分析断面



出典: ETC2.0プローブデータ

<通勤>車種: 普通・小型、用途: 乗用を対象  
<物流>車種: 普通、用途: 貨物を対象  
直轄トラカンデータ※車種が判別不能の車両は対象外

分析時期

R2.2 (コロナ前): R2.2.4~8  
R2.4 (第1回緊急事態宣言期間中): R2.4.13~17  
R3.5: R3.5.24~5.28  
R4.5: R4.5.23~5.27  
R5.5 (直近): R5.5.22~5.26

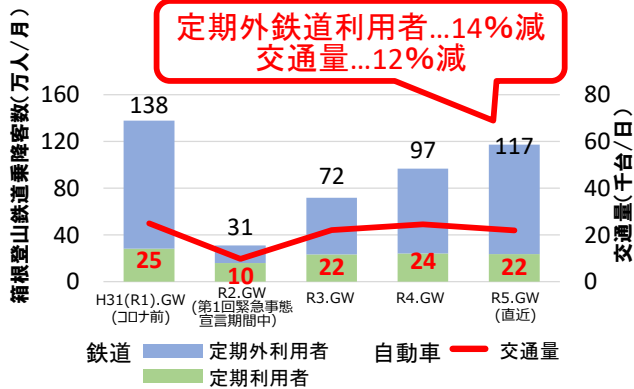
# 4 新型コロナウイルス情勢下の交通状況分析

## 4-3 神奈川県内の交通情勢の変化(OD分析(観光))

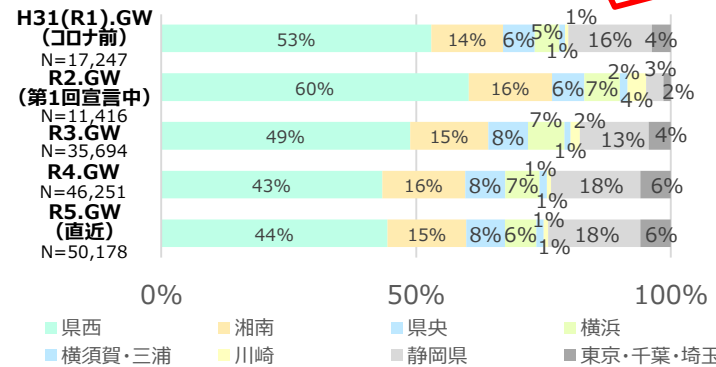
- 緊急事態宣言発令前後での観光地の交通特性を把握するため、県内主要観光地となる箱根地区・鎌倉地区において交通量・トリップ長を分析した。
- GW時期の観光地の公共交通利用者は、箱根地域、湘南鎌倉地域ともに宣言中に大きく減少したが、その後は回復傾向。交通量は宣言中に大きく減少したが、R3以降ではコロナ前と近い水準で推移。
- 車両発着地をみると、箱根地域では宣言中に県外(静岡・東京・千葉・埼玉)の発着割合が減少したが、直近ではコロナ前よりも増加傾向。湘南鎌倉地域ではコロナ前と同様の傾向。

### 箱根地域(国道1号 入生田)

#### 交通量・公共交通利用者数



#### 車両発着地

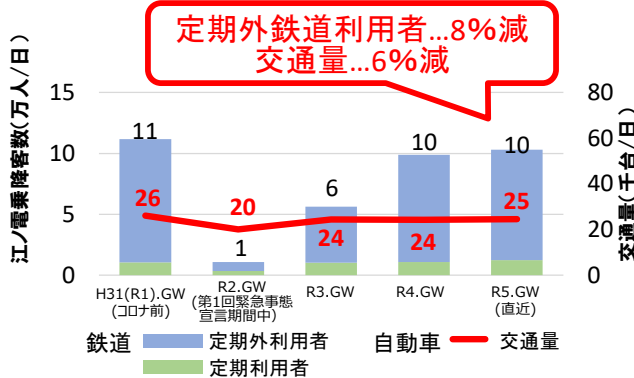


### (参考)分析断面・地域区分

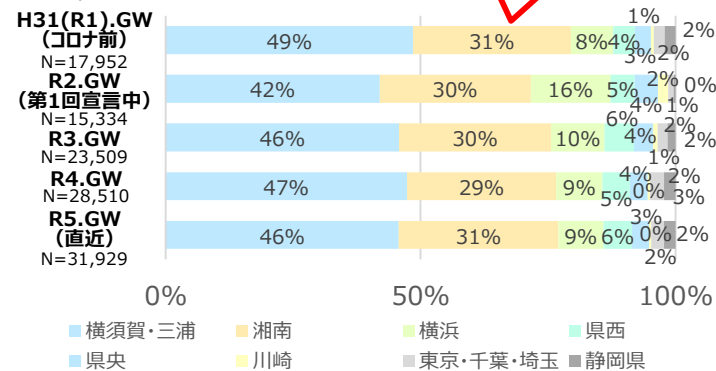


### 湘南鎌倉地域(国道134号 七里ヶ浜)

#### 交通量・公共交通利用者数



#### 車両発着地



出典:ETC2.0プローブデータ  
(車種:普通・小型及び用途:乗用のみを対象)  
直轄トラカンデータ(国道1号 入生田断面)\*1  
県警トラカンデータ(国道134号 七里ヶ浜断面)\*2  
\*1:入生田断面の直近R5.5は、トラカン観測交通量に乗じている補正値を最新値に変更  
\*2:令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果の公表に伴い、県警トラカン交通量を補正

箱根登山鉄道・江ノ島電鉄提供資料  
分析時期  
H31(R1).GW(コロナ前):H31.4.27-R1.5.6  
R2.GW(第1回緊急事態宣言期間中):R2.4.29-5.6  
R3.GW:R3.4.29-5.5  
R4.GW:R4.4.29-5.5  
R5.GW:R5.4.29-5.5  
\*箱根登山鉄道利用者数:月平均  
江ノ電利用者数:日平均